

肢体不自由教育部門の教育

指導の形態		主な学習活動	学部として
自立活動	個別（全学部）	・リラクゼーション ・筋緊張の緩め ・姿勢保持や座位保持 ・移動に関すること ・目と手の協応動作	・個々の課題に応じた内容であるように。 ・児童生徒の動きを大切にし、引き出せるように。 ・児童生徒に負担がかからないように。
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導（全学部重複）	・学級での活動 ・コミュニケーション	・健康観察を十分に行い、一人一人の体調を確認する。 ・呼名などをとおしてコミュニケーションの機会を確保する。
	生活単元学習（全学部重複Ⅱ型）	・テーマに沿った活動	・児童生徒の興味関心に沿ったものであるように。 ・児童生徒の生活や余暇につながるものであるように。
	ワーク（小・中学部重複Ⅱ型）	・制作的活動 ・手指操作	・生徒の実態に応じた内容、卒後の生活に生きる内容であるように。
国語（全学部重複）		・読み聞かせ ・言葉遊び	・小グループで実態に合わせた学習を設定する。
算数・数学（全学部重複）		・パズル ・数遊び	・小グループで実態に合わせた学習を設定する。
音楽（全学部重複）		・リトミック ・鑑賞	・知的重複クラスと連携できるように。（小中）
体育・保健体育（全学部重複）		・ストレッチ ・サーキット活動 ・大玉転がし など	・児童生徒の発達段階に応じた活動であるように。 ・児童生徒各自の運動量を確保できるように。
図工・美術（全学部重複Ⅲ型）		・造形・感触遊び	・児童の発達段階に応じた内容であるように。 ・制作的な内容も取り入れる。
総合的な学習の時間（中学部）（高等部）		・体験学習（入学） ・交流学习	・知的部門の各クラスと連携が取れるように。 ・選択する場面を設定できるように。
特別活動	学級活動・学部集会 児童生徒会活動（全学部）	・テーマに沿った活動 ・役割を持った活動	・知的部門の友だちとのつながりを大切にできるように。（リモート等 ICT 機器の活用）